

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会

対象期間:平成28年10月～平成29年9月

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	大判の時刻表を作成し、旧村上市全体に配布して、市民の利用促進に努めた。また、観光案内所や観光施設等にも携帯型時刻表を配布し、観光客の利用促進に努めた。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 40人/日 実績 43.4人/日	新型車両について、住民に親しみをもってもらえるような、ラッピングデザインを選定し、また、障がい者等に配慮した、車内表示機器を設置する。PR活動については、引き続き、時刻表等を配布を行う。
	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)	高齢者等が乗降しやすいよう、バリアフリーに配慮した車両の発注を行った。			
	村上～馬下～寒川線	学生の利用促進を図るため、公共施設等に学割半額のポスターやチラシ等の配布を行った。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	B 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。沿線地区の人口減少の影響があり、目標値を下回った。 計画に位置付けた目標 16人/日 実績 14.5人/日	学生への周知に加え、沿線住民の方へのPRを強化していく。引き続きJRダイヤとの接続に配慮し利便性の向上に努める。
	村上市せなみ巡回バス	大判の時刻表を作成し、旧村上市全体に配布して、市民の利用促進に努めた。また、観光案内所や観光施設等にも携帯型時刻表を配布し、観光客の利用促進に努めた。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 14人/日 実績 17.8人/日	より多くの観光客、地元住民に利用してもらえるよう、引き続き、時刻表等の全戸配布を行い、利用率上昇が図れるような啓発活動に力を入れる。
	村上～塩野町～北中線	学生の利用促進を図るため、公共施設等に学割半額のポスターやチラシ等の配布を行った。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 30人/日 実績 37.2人/日	学割の効果が高いことから、学生支援を主に考え、JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。